締切80日前における修士論文の見通しについて

伊戸川暁[*]

1999年11月2日

1 研究のまとめ方

- モデルの提示を前面に押し出す。
- 実装(Webを通じて公開の予定)は実例を示す副次的なものにとどめる。
- 評価をどうやるか? そもそも評価は可能なのか?

2 章立て案

はじめに 著者の問題意識について述べる

問題設定 問題群を列挙

モデルの構造 階層構造 5階建てビルの紹介

- **リソース** 各種文書の解釈方法を含む。
- **サイト**
- **命名系**
- **その他** リソースやサイトや名前は階層ごとにどうなるか。モデルで導入する概念とそれが解決する問題点との対応づけ。など。

モデル上の演算及びその例

実装 モデルとの差異について書くことになるのだろう。

(実験・評価)

まとめ

---

[*] 川合研 M2

3　現況

9月下旬以来、ひたすら仕様書を書いている。おかげで、概念上のスキがたくさん埋まった。Abstract nonsence という気もしないではないが。
1月の時点と比較しての重要な変更点は以下の通り。

- 階層構造の上部を(抽象)文書層と解釈層にした。
- 各種リソースの仕様を詳細にした。
- 命名体系やサイトの仕様についても、階層ごとに区分した。

`http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/ itogawa/study/potdocs/`
以下の一部を参考資料として持参してきた。
仕様書のレベルであれこれ考え過ぎるせいか、実装は非常に遅々としている。実はまだサーバクラスのスケルトンくらいしか作っていない。しかし、このくらいしっかり仕様を作っておけば、実装自体はそんなにかからない(推定3 ~ 4週間程度)と予想されるので、そんなに悲観はしていない。

4　参考になりそうな資料

・Sean Reilly. *Handle System Namespace and Service Definition.* INTERNET-DRAFT, draft-sun-handle-system-def-01.txt, 1999.
永続的な名前(handle)をURLなどに変換するツールの仕様書。分散層はおろか、管理者の概念もあるので、上部層の実装をする上でも参考になりそう。